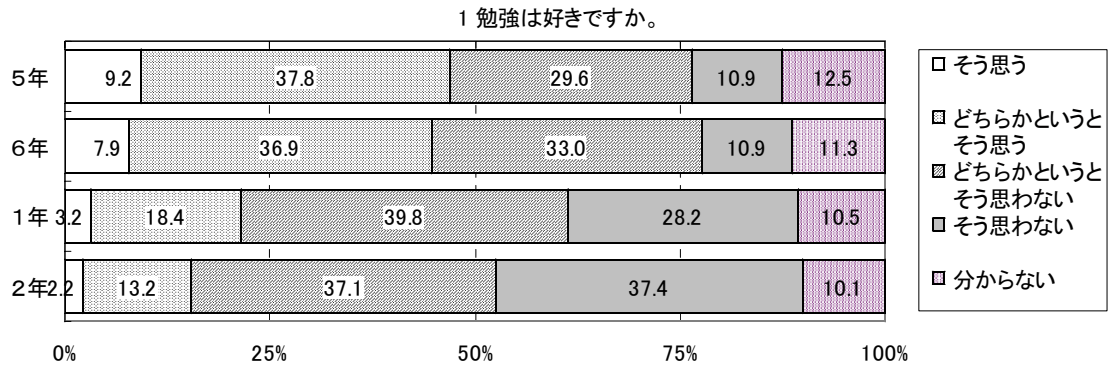


(3) 各設問の結果、分析の概要

1 勉強は好きですか。

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
① そう思う	9.2	7.9	3.2	2.2
② どちらかというと思う	37.8	36.9	18.4	13.2
③ どちらかというと思わない	29.6	33.0	39.8	37.1
④ そう思わない	10.9	10.9	28.2	37.4
⑤ 分からない	12.5	11.3	10.5	10.1



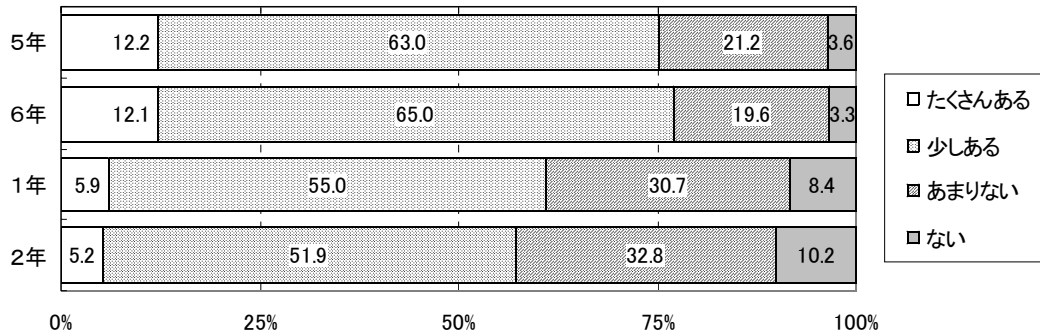
「そう思う」「どちらかというと思う」を含めると、勉強が好きな児童（5・6年）は約4～5割、生徒（1・2年）は約2割である。勉強を好きと思う児童生徒は学年進行とともに減少していく傾向にあり、逆に好きと思わない児童生徒は学年進行とともに増加していく傾向にある。

今後は、児童生徒が自らの学習目的を明確にもって主体的に学ぶことができるよう、学習することの意義や目的の理解、目標をもって努力することの大切さ等についての指導の在り方を工夫する必要がある。特に、中学生に対する指導の在り方を究明する必要がある。

2 自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)がありますか。

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
①たくさんある	12.2	12.1	5.9	5.2
②少しある	63.0	65.0	55.0	51.9
③あまりない	21.2	19.6	30.7	32.8
④ない	3.6	3.3	8.4	10.2

2 自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)がありますか。



「たくさんある」「少しある」を含めると、自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)がある児童(5・6年)は約7.5割、生徒(1・2年)は約6割である。自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)のある児童生徒は学年進行とともに減少していく傾向にあり、逆に気持ち(意欲)のない児童生徒は学年進行とともに増加していく傾向にある。

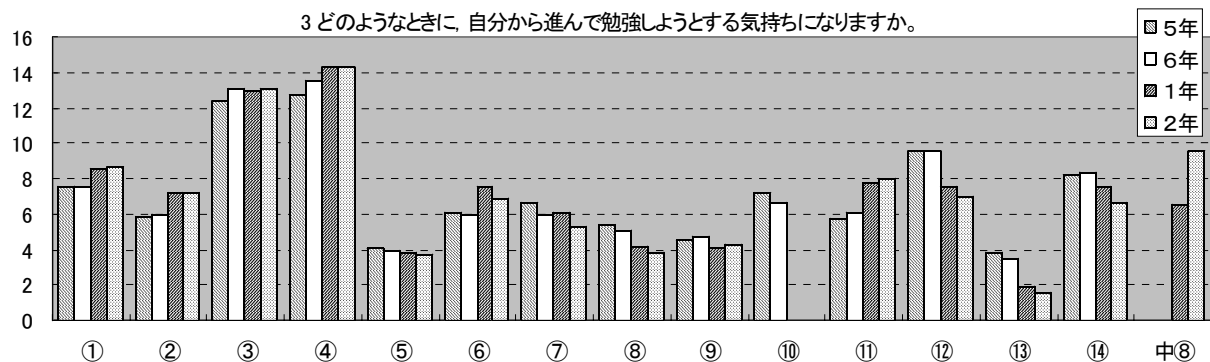
今後は、学ぶ意欲の喚起につながるような指導の改善や学習環境の整備が必要であり、1の設問同様、特に中学1年生に対する主体的な学習態度を育てるための、より個に応じたきめ細かな指導の充実が必要である。

3 どんなときに、自分から進んで勉強しようとする気持ちになりますか。

(当てはまるものの番号に、6つまで○をつけてください。)

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
①先生の説明がよく分かるとき	7.6	7.6	8.6	8.6
②今日何を勉強するのかが分かったとき	5.9	5.9	7.2	7.2
③勉強のやり方が分かったとき	12.4	13.1	12.9	13.1
④分からないことが分かるようになるとき	12.7	13.5	14.3	14.3
⑤自分の意見や考えを発表できるとき	4.1	4.0	3.9	3.8
⑥テストの点数がよいとき	6.1	6.0	7.5	6.8
⑦先生や友達、保護者などにほめられたり認められたりしたとき	6.6	6.0	6.1	5.3
⑧ 小⑧学級の中で、グループで協力して学習ができるとき ----- 中⑧学級の中で、グループで協力して学習ができるとき	5.4	5.0	4.1	3.8
⑨ 小⑨少人数学習(コース別など、クラスを少ない人数に分けた学習)を行うとき ----- 中⑩少人数学習(コース別など、クラスを少ない人数に分けた学習)を行うとき	4.5	4.8	4.0	4.3
小⑩図や絵やものを使って勉強するとき	7.2	6.7		
⑪ 小⑪作業や実技などの活動をするとき ----- 中⑪実験や実習、実技などの活動をするとき	5.8	6.1	7.8	8.0
⑫パソコンやビデオ、カセットなどの機器を使って学習するとき	9.6	9.6	7.6	7.0
⑬ALT(外国人の先生)や地域の方などと勉強するとき	3.9	3.4	1.9	1.6
⑭特別教室や野外などで学習するとき	8.3	8.4	7.5	6.6
中⑧自分の進路について目標がはっきりしたとき			6.5	9.6

*注) 設問の選択肢番号を、上表左端の①～中⑧のようにグラフ用番号に変えている。



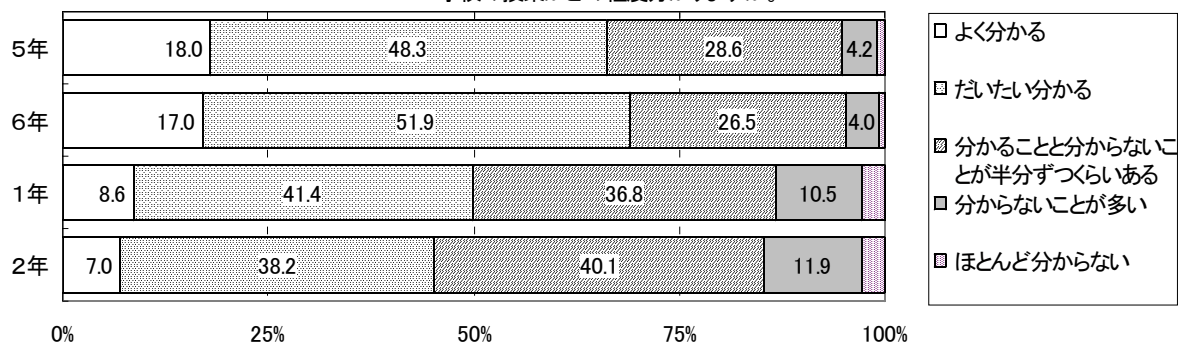
「勉強のやり方が分かったとき」や「分からないことが分かるようになるとき」に児童(5・6年)生徒(1・2年)は自分から進んで勉強しようとする気持ちになる傾向が強い。学年進行とともに、授業が分かる時(①②③④)を選択する傾向が増加し、賞賛や多様な学習方法等(⑦⑧⑫⑬⑭)を選択しない傾向が強い。(ただし、これは、選択個数を6つまでに制限した場合の傾向である。)

今後は、学年が進行するとともに、特に児童生徒の意識を踏まえた「分かる授業」づくりに向けた指導の改善や主体的な学習態度を育てるための指導方法や学習環境の工夫が必要である。

4 学校の授業がどの程度分かりますか。

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
①よく分かる	18.0	17.0	8.6	7.0
②だいたい分かる	48.3	51.9	41.4	38.2
③分かることと分からないことが半分ずつくらいある	28.6	26.5	36.8	40.1
④分からないことが多い	4.2	4.0	10.5	11.9
⑤ほとんど分からない	0.9	0.6	2.7	2.8

4 学校の授業がどの程度分かりますか。

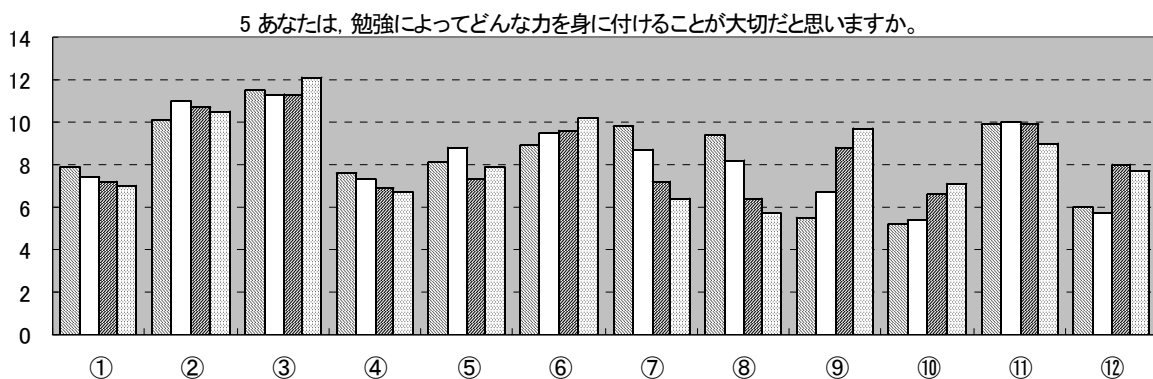


「よく分かる」「だいたい分かる」を含めると、授業が分かる児童（5・6年）は約7割、生徒（1・2年）は約5割である。授業が分かる児童生徒は学年進行とともに減少していく傾向にあり、逆に授業が分からない児童生徒は学年進行とともに増加していく傾向にある。

今後も引き続き、個に応じたきめ細かな指導の充実が必要であり、1や2の設問同様、特に中学1年生における、より丁寧な指導とともに、児童生徒が自ら分からないことを克服するための問題解決の力などを身に付けさせる必要がある。

5 あなたは、勉強によってどんな力（小学校）学力（中学校）を身に付けることが大切だと思いますか。（当てはまるものの番号に、6つまで○をつけてください。）

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
①自ら進んで問題を見付けようとする力	7.9	7.4	7.2	7.0
②自ら興味をもって取り組もうとする力	10.1	11.0	10.7	10.5
③じっくり考える力	11.5	11.3	11.3	12.1
④解決の仕方を工夫する力	7.6	7.3	6.9	6.7
⑤確かな理由をもって判断する力	8.1	8.8	7.3	7.9
⑥自分の考えを表現する力	8.9	9.5	9.6	10.2
⑦さまざまな方法で調べる力	9.8	8.7	7.2	6.4
⑧仲間と一緒に学習する力	9.4	8.2	6.4	5.7
⑨幅広い知識	5.5	6.7	8.8	9.7
⑩さまざまな技能	5.2	5.4	6.6	7.1
⑪読み書き計算の力	9.9	10.0	9.9	9.0
⑫暗記する力	6.0	5.7	8.0	7.7

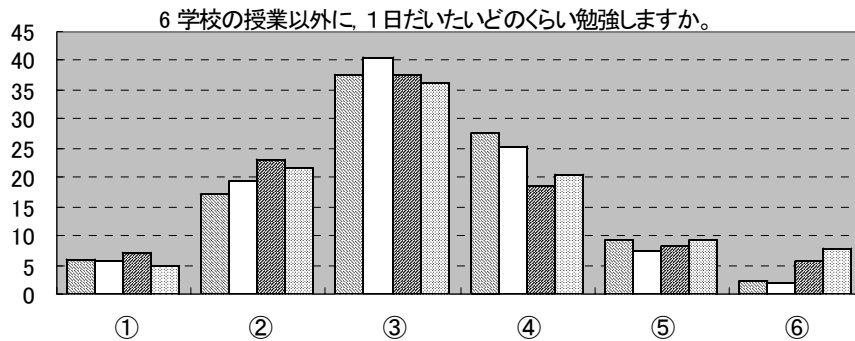


「じっくり考える力」や「自ら興味をもって取り組もうとする力」が大切とする児童（5・6年）生徒（1・2年）が多い。「自分の考えを表現する力」「幅広い知識」「さまざまな技能」が大切とする児童生徒は学年進行とともに増加し、逆に、「自ら進んで問題を見付けようとする力」「解決の仕方を工夫する力」「さまざまな方法で調べる力」「仲間と一緒に学習する力」が大切とする児童生徒は学年進行とともに減少する。

児童生徒が選択した「じっくり考える力」「自ら興味をもって取り組もうとする力」「さまざまな方法で調べる力」は、情報化等の社会の変化に主体的に対応する力として大切なものである。今後も児童生徒が望む、自ら考え、判断し、粘り強く解決していく力などを身に付けていくことができるような指導方法の工夫や改善を、意図的に実施する必要がある。

6 土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。(塾で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含まれます。)

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
① 3時間以上	5. 8	5. 7	7. 1	5. 0
② 2時間以上、3時間より少ない	17. 1	19. 3	23. 0	21. 6
③ 1時間以上、2時間より少ない	37. 6	40. 7	37. 4	36. 1
④ 30分以上、1時間より少ない	27. 6	25. 1	18. 6	20. 4
⑤ 30分より少ない	9. 4	7. 4	8. 0	9. 3
⑥ 全く、または、ほとんどしていない	2. 4	1. 8	5. 7	7. 6

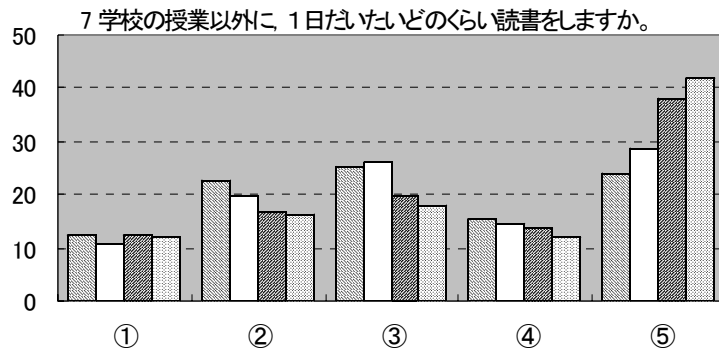


「1時間以上、2時間より少ない」と1日の勉強時間を答える児童(5・6年)生徒(1・2年)は約4割である。「2時間以上、3時間より少ない。」とする児童生徒は学年進行とともに増加していく傾向にあり、逆に「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」とする児童生徒は学年進行とともに減少していく傾向にある。また、「全く、または、ほとんどしない」とする児童生徒の割合は少ないものの、学年進行とともに増加していく傾向にある。

今後は、自ら課題をもって学習する態度や、家での学習習慣がさらに身に付くよう、教科や領域の学習指導の中で、家庭などでの学び方の指導が必要である。

7 土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい読書をしますか。(教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。)

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
① 1時間以上	12.6	10.5	12.2	11.9
② 30分以上、1時間より少ない	22.6	19.8	16.8	16.4
③ 10分以上、30分より少ない	25.4	26.2	19.6	17.9
④ 10分より少ない	15.5	14.7	13.5	11.9
⑤ 全く、または、ほとんどしていない	24.0	28.8	37.9	42.0



読書をする場合、「10分以上、30分より少ない」の児童(5・6年)は約2.5割、生徒(1・2年)は約2割である。「全く、または、ほとんどしていない」とする児童生徒は学年進行とともに増加していく。また、「1時間以上」とする児童生徒は学年進行に伴う変化はほとんどないが、その他の時間帯では学年進行とともに減少していく傾向にある。

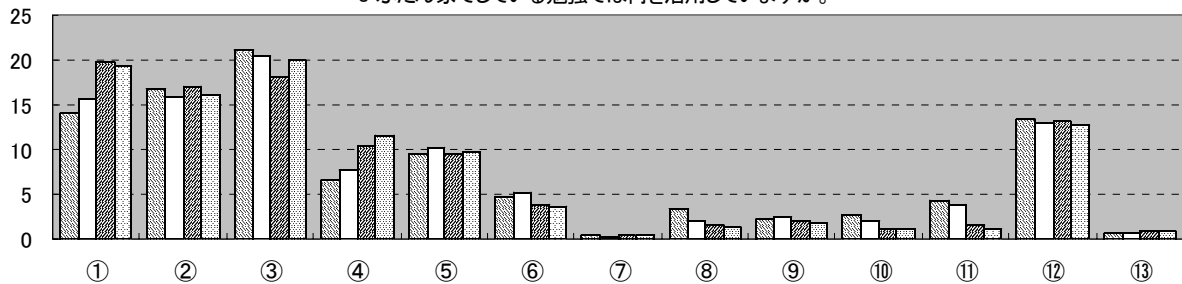
今後は、読書環境の充実や早期からの読み聞かせや課題図書などの読書指導の充実を図りつつ、楽しく読書をする習慣が身に付くような、学校・家庭・地域が一体となった取組みが重要である。

8 ふだん家でしている勉強では何を活用していますか。

(当てはまるものすべての番号に○をつけてください。)

	小第5学年	小第6学年	中第1学年	中第2学年
①教科書	14.1	15.8	19.9	19.4
②ノート	16.8	15.9	17.1	16.1
③ドリルや問題集	21.2	20.5	18.2	19.9
④参考とする本	6.6	7.7	10.5	11.7
⑤辞書	9.6	10.3	9.6	9.8
⑥パソコン(インターネットなど)	4.8	5.3	3.8	3.6
⑦ラジオ	0.5	0.3	0.4	0.4
⑧テレビ、ビデオ、DVD	3.5	2.1	1.5	1.4
⑨カセットテープ、CD	2.2	2.6	2.1	1.8
⑩新聞	2.7	2.1	1.1	1.1
⑪図書館(図書館の本)	4.3	3.8	1.7	1.2
⑫家族、塾の先生などに聞く	13.4	13.0	13.2	12.7
⑬特に何も活用していない	0.7	0.6	0.9	0.9

8 ふだん家でしている勉強では何を活用していますか。



「ドリルや問題集」「教科書」「ノート」「家族、塾の先生などに聞く」を活用して家で勉強する児童(5・6年)、生徒(1・2年)が多い。「参考とする本」を活用して勉強する児童生徒は学年進行とともに増加していく傾向にある。

今後は、授業内容の復習や自主的な学習の仕方を、個に応じて具体的に指導するとともに、6の設問同様、教科や領域の学習指導の中で家庭での学び方の指導が必要である。